
国立研究開発法人 情報通信研究機構

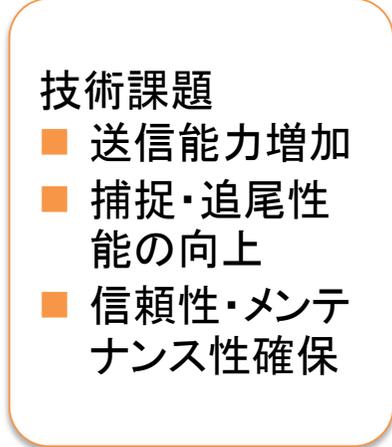
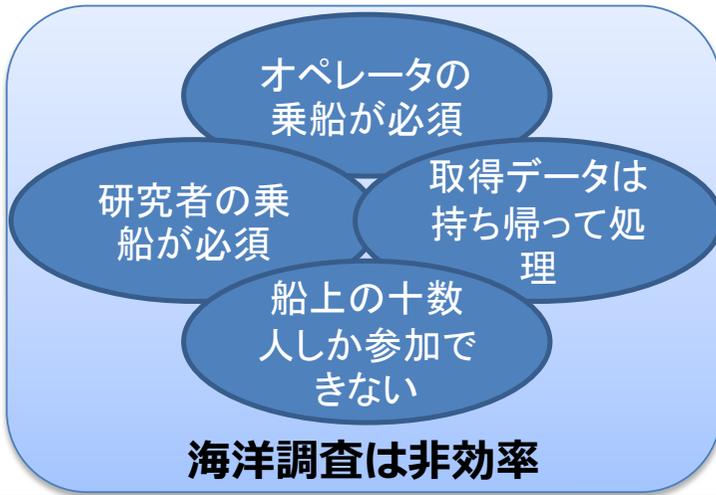
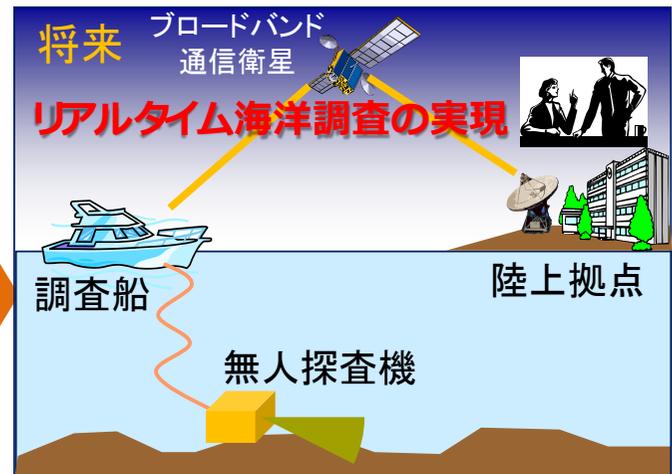
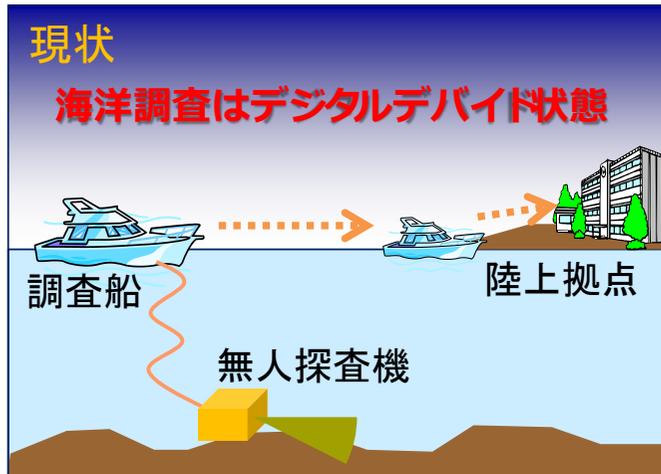
吉村 直子

naoko@nict.go.jp

NICTにおける海洋ブロードバンドの研究開発

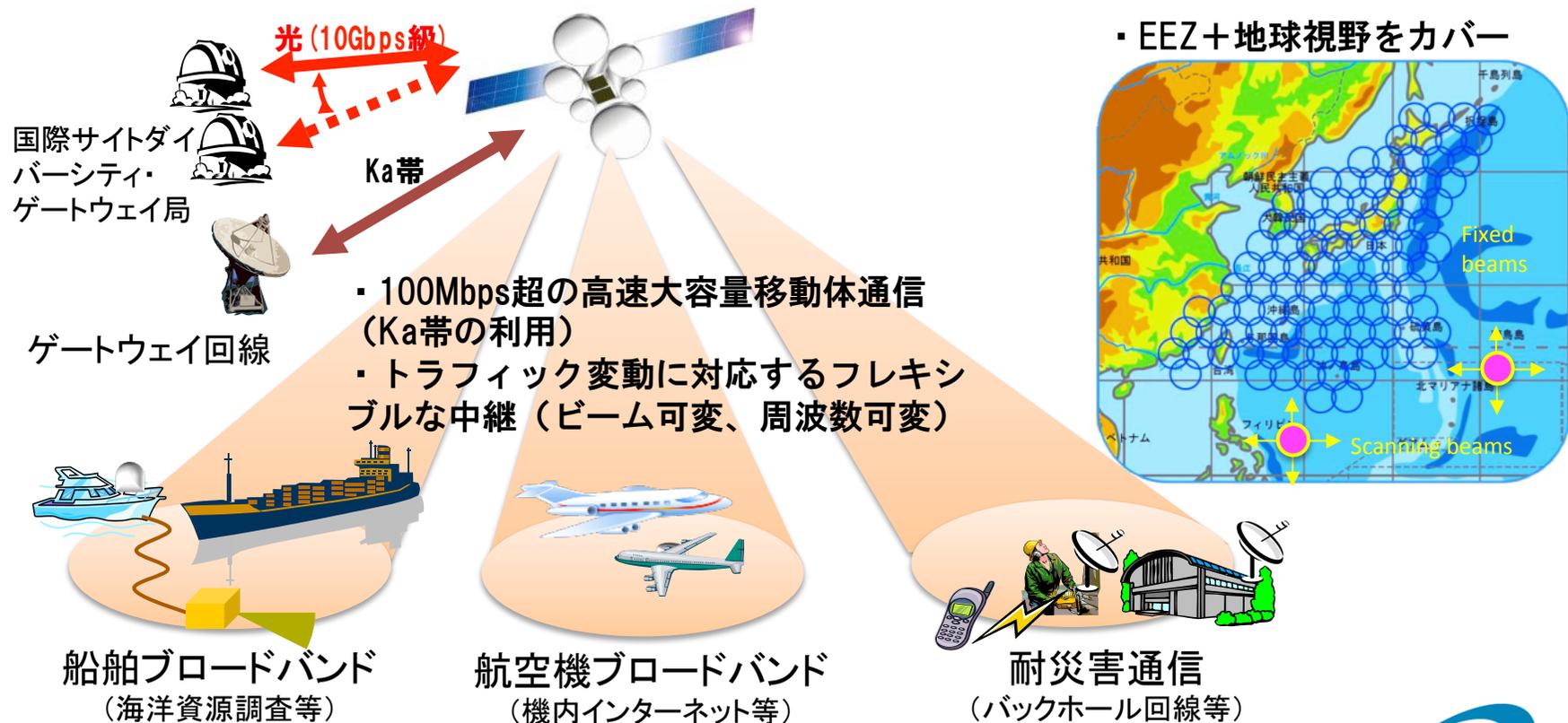
R&D on Maritime Broadband System of NICT

世界第6位の広い排他的経済水域を有する日本にとって、
海洋資源調査、海洋産業の高度化、海洋安全保障等は重要課題



海洋BBを含む将来の衛星通信システムイメージ Image of Future Satellite Communications system

非常時、海洋、航空を含む宇宙空間に
100Mbps級のブロードバンド通信を衛星通信で提供
 Provision **100Mbps** class broadband satellite link for users



海洋ブロードバンドの将来像

Future Image of Maritime Broadband Communications

- 海洋上プラットフォームからのアップリンク伝送速度の向上

Improvement of uplink data rate for ocean platform

- ◆ 資源調査データ、IoTデータ等のリアルタイム伝送の実現
 - ・ 大容量データのリアルタイム伝送のために高速な回線が必要

- 多数の低速アップリンクデータの収容

Accommodation of huge amount low rate data

- ◆ 環境計測データ(洋上・海中環境センサ、津波センサ等)のリアルタイム収集
 - ・ 1センサ辺りのデータ量は少ない(低速)だが、広域にわたって大量に分散するセンサからのデータを収集する必要がある。

- 海域へのダウンリンク容量の増大

Increase in downlink capacity for sea area

- ◆ 衛星リモートセンシング情報等の配信、高速インターネット環境の構築等のためにはダウンリンク容量の増大も必要